

(1) 整備方針・整備テーマ

- 検討対象地の現状やこれまでに把握している地元意向を踏まえ、本計画対象地における基本方針や計画テーマを以下のように整理しました。

基本方針

①学校跡地の特徴に配慮	<ul style="list-style-type: none"> 地元からの寄贈地に建てられたという経緯や、学校であったというこれまでの土地利用状況から、多くが小文間小の卒業生である周辺居住者にとって思い入れのある土地となっていることに配慮した、利活用計画を作成します。
②立地特性を活かす	<ul style="list-style-type: none"> 地域の中心地として学校用地に選定された経緯から、地域において等しく訪れやすい立地となっていることから、地域の中心に求められる機能の付与を検討します。 また、少子高齢化が著しいことから、担い手の育成や多世代交流の場としての利活用を視野に入れた利活用計画を作成します。
③現在の地域状況に配慮	<ul style="list-style-type: none"> 体育館は、運動の場として活用されていることから、今後も健康増進に資するレクリエーションの場としての機能を継承する利活用計画を作成します。
④行政ニーズへの対応	<ul style="list-style-type: none"> 現在でも避難場所としての機能を有していることから、これらの防災機能を継続した土地利用を検討します。 公共施設の更新期が到来しており、今後は公民館等の機能更新も想定されます。このような公共施設更新時の種地としての活用も視野に入れた利活用計画を作成します。

整備テーマ

歴史・文化を受け継ぐ、地域の庭

期待する効果

小文間地区の歴史・文化・コミュニティの継承

小文間小学校跡地利活用計画案

(2) 導入機能の考え方

		検討機能	導入の考え方	機能イメージ
歴史・文化を受け継ぐ、地域の庭	集う・楽しむ	交流	市民が気軽に集い、楽しめる空間をつくり、イベント等、多目的な利用も可能なオープンスペース機能の導入を図ります。	
		レクリエーション	市民が健康で楽しい生活を送るための健康増進機能の導入を図ります。 <small>バレーボール・バドミントンクラブ等の体育館利用、サッカークラブ・盆踊り等の校庭利用を継続</small>	 
	伝える	継承	地域の特性を活かした芸術文化活動や歴史・文化を継承する学びの場を創造します。	 
	守る	防災	これまでの小学校が担ってきた避難場所・避難所等の防災機能を継承します。 <small>避難場所・避難所等としての利用を継続</small>	

小文間小学校跡地利活用計画案

(3) 【A案：新校舎・体育館のみ】土地利用計画



小文間小学校跡地利活用計画案

(4) 【B案：旧校舎も保存】土地利用計画

